



# 飯能ロータリークラブ会報

桜の中央公園と天覧山

© photo by Hiroyuki Maejima



## イマジン ローターリー

RI会長 ジェニファー E.ジョーンズ  
 第2570地区ガバナー 村田 貴紀  
 第3グループガバナー補佐 白井 威

地域と世界でつながる力を磨き奉仕を実践しよう!

## 第3055例会 2023. 3. 8

—— 水 と 衛 生 月 間 ——

天候 晴 (NO. 59-36)

会長 矢島高明 幹事 市川 昭

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 大野(康)君、大野(泰)君

例会場: ホテル・ヘリテイジ飯能sta.

☎ (042) 975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎ (042) 973-1661 FAX (042) 973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点 鐘 矢島高明会長
- ・ソング 我等の生業
- ・卓 話 岡部一宏様



### 【会長報告】

2024-25年度ガバナーノミニーは五十幡和彦氏(行田さくら)、ガバナーノミニー・デジグネートについては来年6/30までに地区に候補者名を提出します。2/5「第33回せせらぎ杯中学生卓球大会」が「飯能ロータリークラブカップ」の冠を付け実質3回目の協力をさせて頂いて開催されました。「第10回震災復興元気市FINAL」実行委員会への協賛金拠出は理事会に諮りませんでしたので、私にご一任頂き、適正なものであれば協力させて頂く事でご理解の程お願い申し上げます。

### 【幹事報告】

「ロータリー手帳」申込みは本日で。3/17日高RCチャリティゴルフコンペが開催されます。

### 【委員会報告】

- ◎クラブ奉仕委員会 矢島(巖)君  
中里(昌)パスト会長が編集された映像(2010年モントリオール国際大会)の映写会を3/31(金)17時~飯能商工会議所で開催。その後「暖らん」で懇親会です。会費は懇親会のみ5千円/人。
- ◎親睦活動委員会 五十嵐君  
「親睦旅行アンケート」は参加35名。最終確認で「シングル希望」の方はそのようにご記入下さい。

【出席報告】無届欠席1 永安寺出席向上委員

会 員 数		当 日	
全 数	対 象	出 席 数	出 席 率
71名	5名	55名	77.46%

### 【M U】

2/16 (入間) 前島君

### 【SAA報告】

◎ニコニコBOX

・結婚記念日お祝い有難うございました。

川口君、永安寺君

・岡部先生、本日は卓話よろしくお願ひ致します。 前島君、本橋君、吉澤君、大野(康)君

・誕生日お祝い有難うございました。 前島君

・欠席致しました。 本間君

本日計19,000円、累計額700,000円。

◎15日例会当番は大野(正)、大津会員です。

### 【卓 話】

講師紹介 本橋青少年奉仕委員長

岡部先生には先日の大会でも大変お世話になりました。S33年生まれ、64歳。飯能市の小中学校から法政一高、法政大学に進学。卒業後、原市場中、名栗中、飯能一中の数学科教員、卓球部顧問としてご活躍。飯能市教育委員会学校教育課、埼玉県立総合教育センターの指導主事、飯能一中の教頭、原市場中、加治中の校長を歴任後現職。「せせらぎ杯」の大会を33年間継続され、今では関東一円から強豪校が多数参加するようになった、その功労者でいらっしゃいます。

## 「せせらぎ杯の歩み」と「ブカツノミライ」

大川学園高等学校 教頭

駿河台大学スポーツ科学部 非常勤講師 岡部一宏様

「せせらぎ杯中学生卓球大会」につきましては飯能RC様の大きなお力添えを頂きまして、第

33回大会を無事終了する事が出来ました。

教員生活を長くやって来ましたが、何をやったかと言えばやはり部活が一番だったのです。せせらぎから大きな海への思いで、だんだん大きな大会にしていこうという事でやっています。3年前の第30回記念大会は大きく開催しましたが31、32回はRC様にお力添え頂ける事が分かりながらも中止。この間、3年振りに大会が行われたという流れです。

飯能市で毎年2月に開催する小中学生の卓球大会。大雪、インフルエンザ、コロナ禍といろいろありましたが何とかやって来ているかなと思っています。関東甲信越の各都県から、中学校の卓球部、今はクラブチームも参加しており、静岡からの参加があった年もありました。学校対抗戦とチーム対抗戦の2日間のプログラムを組み、1日目は夜9時まで子ども達の元気な声が体育館に響きます。通常の参加チームは60~70チーム程度。今年は数を少し抑えました。

合言葉は「手づくりの大会」です。創設当時、私は名栗中で卓球部の顧問をしており、出来れば強いチームが育つといいな、それにはレベルの高いプレーを生で見せたいな、という思いがあり、関東の全国レベルの中学生を招いて、飯能、名栗の子ども達、地域の皆にそれを見てもらおうとの思いでスタートしました。山あいの小さな学校だからこそ何か出来るのではないか、大きな事をやっちゃおう、という思いが心の中にありました。隣の原市場中と同じ思いをもった顧問の先生が居ました。中村力(つとむ)先生、現・飯能市教育長です。同い年でしたから気安く声を掛け、「一緒に関東大会みたいな大きな大会を開いちゃおうよ」「面白いね」と、2人で始めたのがスタート。最初は、男子は原市場中、女子は名栗中と2会場で、2校とも清流・名栗川のほとりにあるので「せせらぎ杯」としました。人の一生に例えると「せせらぎ」は中学生。だんだん成長して大きな川になり、最終的には海に注ぐ。そんなふう子ども達も成長してくれたら良いなどの思いを込めました。

10年後、10回目を迎えた年から「飯能市卓球連盟」が主催側に入って下さいました。当時勤めていた飯能一中の卓球部キャプテンのお父様は部活動の後援会長で市の体育課職員だった事もあり、市民体育館を使う事になりました。その方が後の教育長の今井直己さんです。いろんな方とのお付き合いがあり大会がだんだん大きくなっていくな、というのを実感しています。

節目の記念大会には加治中吹奏楽部を招く等して、開会式をショーアップしています。

2年前、飯能RC様よりお力添え頂く事となり優勝カップを新調。第31回大会から「飯能RCカップせせらぎ杯」となりましたが、翌第32回も中止。やっとこの2月に新しい優勝カップを使って大会を開く事が出来たわけです。

大会の中心は部員、生徒ですが、周りには先生や体育館職員、宿泊施設の方、お弁当屋さん、卓球業者さん、報道関係者、卒業生のお手伝い、来賓、RCの皆様と、本当にいろんな方に支えられているんだなと常に思っています。

この大会が長く継続出来ればと思っている次第です。毎年2月の第一日曜に開催予定ですので是非会場にお越し頂けると有難く思います。



## ■ブカツノミライ

粘り強さが必要とされる「カットマン」というプレースタイルがあります。私はこれが大好きなのですが非常に長い時間をかけてプレーが進んでいきます。

一中に「のさっち」という生徒が居ました。たった6人のチームだった時の

ことです。ある3月の日に、のさっちのお母さんが私にこんな事を言いに来られたのです。「引越すことになりました」。6人しか居ないチームなので、1人欠けると試合に出られなくなってしまいます。数日後、お母さんから電話が入ります。「娘と私だけ飯能に残ります」。のさっちがどうしても6人で最後まで戦いたいと訴えてくれたようなのです。私は監督としてすごく嬉しかったのですが、逆にいいのかなと思いました。そして、結果を出さなくちゃなあと思えました。5月の埼玉県大会はやっとベスト8。7月には関東大会への出場を決める大会がありました。関東大会に出られるのは上位5チーム。組み合わせ抽選のくじ運は最悪で、5月の県大会で1位だったチームと対戦。当たって砕けろでした。1番はエース対決。うちが勝ちました。2、3番は順当に負け。4番から奇跡が起こります。のさっちは5番でした。残念ながら最終セット6対17、敗色濃厚。あと4点で負け。しょうがないなと思い、私は諦めていたのですが、ふと気づいたら周りの子ども達が一生懸命応援しているのですね。カウント板を見ると19対19に追いついていたのです。この時だけは神様って居るかもって思いました。こんな素敵なシーンに時々出会えるのです、部活って。

そんな部活が今、姿を変えつつあります。大きな課題は2つ。1つはコロナ。もう1つは部活に対する見方が変わってきている事です。“練習のやり過ぎ”を防ぐために時間・日数の制限が加えられました。飯能日高地域では来年度から、中学校の全ての部活動の「朝練習」を無くすかも知れません。中学の部活を地域移行する事には7割の人が賛成しています。2023年度夏の大会からは全国中学校大会にクラブチームを出してよいというルールに変わり、教員は、専門性を有し希望する者のみに有償で休日の練習を指導してもらうようになるそうです。地域移行には①地域スポーツクラブ等に移行する、②外部指導者が部活を指導する、③教員が報酬を得て指導する、という3パターンがあると思います。

「部活を地域の皆さんで」というカラーが強くなっていくのかなと感じています。一種目ではなく、さまざまなスポーツにチャレンジさせてもいいのではとの意見もある。1つの事に夢中になって長く続けるという生き方はどうなのか。時代遅れになりつつあるのでしょうか。

課題として、指導者へのお金はどうするのか／強制加入させるのか／指導者の人間性はどうか／入試等でどのように成果を書くか。

奄美大島のチームが去年選抜甲子園に出ましたが、地域で応援して育てているという感じがしました。飯能でもこんなふうな動きが進んでいくといいのかなと思ったりもしています。